

(敬称略、五十音順)

米 沢 市 総 合 計 画 審 議 会 委 員 名 簿

平成27年4月17日現在

役 職 名 等		氏 名
1	会社役員（公募委員）	安 部 美和子
2	米沢市社会教育委員・米沢市公民館運営審議会委員	泉 多恵子
3	米沢観光物産協会理事	遠 藤 秀 平
4	米沢栄養大学健康栄養学部長	大和田 浩 子
5	米沢市参与・山形大学名誉教授	◎ 尾 形 健 明
6	松ヶ岬保育園副園長	奥 村 あい子
7	山形大学教授	小 野 浩 幸
8	米沢電機工業会理事	小野寺 忠 司
9	J A山形おきたま米沢地区青年部委員長	佐 藤 大 喜
10	米沢市スポーツ推進委員	佐 藤 晃 代
11	米沢商工会議所専務理事	○ 柴 田 正 孝
12	元中学校長	島 津 眞 一
13	米沢青年会議所理事長	白 井 裕 久
14	特定非営利活動法人 With優 代表	白 石 祥 和
15	米沢市コミュニティセンター館長会会長	鈴 木 清 治
16	米沢市社会福祉協議会地域福祉課長	清 野 雅 好
17	米沢市芸術文化協会常任理事	中 嶋 朱 実
18	米沢市商店街連盟理事	林 宗太郎
19	社会保険労務士・行政書士	我 妻 仁

◎会長

○会長代理

注) 肩書は平成26年6月5日委嘱当時のもの

米沢市新総合計画策定の歩み

[平成26年]

- 5月21日 第1回総合計画策定会議
 - 新総合計画策定基本方針の決定
- ◆ 6月5日 第1回総合計画審議会（伝国の杜）
 - 委員の委嘱、諮問
- 6月20日～7月11日 郵送方法による市民アンケート、高校生アンケート、中学生アンケートの実施
- 7月15日 第2回総合計画策定会議
 - 米沢市まちづくり総合計画の評価・検証の協議
- ◆ 7月30日 第2回総合計画審議会（置賜総合文化センター）
 - 本市の現状、米沢市まちづくり総合計画の評価・検証に関する説明、人口問題に関する意見交換
- 8月29日 第1回米沢まちづくりフォーラム（置賜総合文化センター）
 - 意見交換
- ◆ 9月24日 第3回総合計画審議会（山形大学工学部米沢街中サテライトキャンパス）
 - 新総合計画の視点に関する意見交換
- 9月29日 第2回米沢まちづくりフォーラム（置賜総合文化センター）
 - 分野毎の提言書作成の意見交換
- 10月14日～10月28日 有識者インタビューの実施
- ◆ 10月27日 第4回総合計画審議会（アクティーマ沢）
 - 新総合計画の視点に関する意見交換
- 10月30日 第3回米沢まちづくりフォーラム（置賜総合文化センター）
 - 分野毎の提言書原案とりまとめ
- ◆ 12月2日 第5回総合計画審議会（伝国の杜）
 - 中間意見体系案に関する意見交換
- 12月16日 第4回米沢まちづくりフォーラム（置賜総合文化センター）
 - 提言書発表、提言

[平成27年]

- ◆ 1月16日 第6回総合計画審議会（伝国の杜）
 - 中間意見案に関する意見交換
- ◆ 2月2日 米沢市総合計画審議会中間意見書の提出（市長応接室）
 - 中間意見書の提出
- 3月18日 第3回総合計画策定会議
 - 基本構想（案）の検討

基本計画の構成案

第1章 挑戦し続ける活力ある産業のまちづくり

施策1-1 賑わいと暮らしを支える商業の振興

基本構想に掲げた基本目標

■ ■ 現状と課題 ■ ■

- 本市の商業・サービス業については、大型店舗の撤退、郊外型店舗の増加、中心市街地の活性化させ、地域コミュニティを形成した特色ある商店街を形成する必要がある。

施策に係るまちづくりの動向や社会的潮流、これまでの市の取組などを踏まえた現状や課題について記載します。

基本構想に掲げた分野別の施策を示します。

図表 小売業に係る推移（「経済センサス調査」より）

	H11	H14	H16	H19	H24
商店数（店）	1,216	1,144	1,117	1,016	910
従業者数（人）	6,759	6,640			808
年間商品販売額（万円）	11,795,570	11,234,981			116

現状や課題を示すグラフや図を掲載します。

図表 卸売業に係る推移（「経済センサス調査」より）

	H11	H14	H16	H19	H24
商店数（店）	334	301	300	268	266
従業者数（人）	2,446	2,153	2,163	2,033	1,786
年間商品販売額（万円）	11,656,169	9,968,471	9,810,661	8,884,877	6,372,966

■ ■ 施策の目指す姿 ■ ■

- 魅力ある個店、活力ある商店街を形成し、中心市街地が活性化され、まちなかに賑わいが戻り、誰もが訪れたい商業機能を実現する。

魅力ある個店の形成を支援するとともに、中心市街地の活性化を図ります。また、市民の商業の振興を図ります。

施策の目指す姿（目的・方向性）を示します。

促ス

■ ■ 施策での取り組み ■ ■

1-1-1 活力ある商業の振興

担当課：商工課

- 個店の魅力を最大限に発揮し、何度も指導体制の強化や金融支援制度の充実
- インターネットなどの情報通信を活用や福祉、農業、観光と連携して、家事の新たなサービス産業の創出を推進します。

施策の成果向上を図る基本的取組の概要を示しています。

1-1-2 賑わいを創出する商店街の形成

担当課：総合政策課、商工課

- 空き地や空き店舗の活用を推進するとともに、新規創業者（起業家）育成のため、支援の充実に努めます。

担当課を示しています。

施策全体の主な事業を掲載します。

連携などにより地域商店街を創出するとともに、新文化複合施設（図書館・市民ギャラリー）や催事によるまちなかの賑わいを創出します。

卸売市場等の充実

米沢総合卸売センター、水産物地方卸売市場を推進するとともに、米沢市青果物地方卸売市場を

施策の目標達成に向けて、市民・事業者等に期待される役割を示します。

■ 主な事業 商業振興事業、中小企業活性化振興対策、創業起業支援事業

■ ■ 市民・地域・事業者に期待する役割 ■ ■

- ・ (市民) 活性化の趣旨を理解し、地元商店街を支援
- ・ (市民) まちなかイベント等に参加し、賑わいを創出
- ・ (事業所) 多様な消費者ニーズに対応し、新たなサービス産業の創出を推進

分野別の施策の事業の実施による成果向上を把握するための指標とその現状値・目標値を示します。

■ ■ 目指す目標値（活動指標・成果指標） ■ ■

No	成果指標名	現状値の年度	現状値	前期目標値(H32)	担当課
1	空き店舗の活用数				商工課
2	市内には魅力的な店舗や商店街が形成されていると思う市民割合				商工課
3	創業相談件数				
4	創業件数				

原則として、現状値は平成26年度、目標値は平成32年度（前期計画の最終年度）の数値を記載します。